

第3章 分野別計画

都市基盤 防災 景観

- ・土地利用・都市計画
- ・公共交通
- ・住宅・公園・景観
- ・道路・河川
- ・上水道・下水道
- ・防災・危機管理
- ・消防・救急



都市基盤・防災・景観

目指す姿

生活の基盤である、住居、インフラ、災害への備えなどが整った、安全で安心した暮らしの実現

目指す姿を実現するための方向性

- 急激な社会情勢の変化や地域社会の変容に対応し、長期的な視点で社会基盤を整備する必要があります。
- 緊急時でも支え合いの体制が確立し、安全安心な暮らしが維持できる仕組みの構築が求められています。
- 日々の暮らしのなかで、憩いや交流できる場の提供が求められています。

施策分野別の課題と方向性

土地利用・都市計画

- 長期的な視点は堅持しつつ、社会的な変化などに対応した都市計画が求められています。
⇒ 地域特性や長期的視点を踏まえた土地利用

公共交通

- 地域の実情に沿った公共交通体制を確保する必要があります。
- 既存の方法にとらわれない新たな手法の取り組みが求められています。
⇒ 地域の実情やニーズに応じた公共交通体制の確立
- 公共交通の利用環境の向上を図る必要があります。
⇒ 公共交通の利便性の向上

住宅・公園・景観

- 安心して生活ができる住宅環境が求められています。
⇒ 良質で住み続けられる住宅環境の整備
- 身近なところで遊ぶことができる場所や休憩し交流できるスポットが求められています。
⇒ 公園やまちかどスポットの充実
- 人々を魅了する景観の保全と規制について、バランスの取れた制度の構築が求められています。
⇒ 地域の実情に応じた景観の保全・創出
- 増加する空き家への対策が求められています。
⇒ 空き家対策・活用
- 地域の伝統的な技法の継承に対する支援の必要があります。
⇒ 飛騨の匠の技を継承する人材の確保

道路・河川

- 中部縦貫自動車道の延伸や、東海北陸自動車道の4車線化、都市計画道路松之木千島線の整備など、道路交通網の大きな変化へ対応する必要があります。
⇒ 早期の幹線道路ネットワークの構築
- 災害や老朽化・長寿命化対策、将来にわたる維持管理など、道路や河川環境の維持が求められています。
⇒ 官民連携による快適な道路・河川環境の維持

上水道・下水道

- 独立採算が求められる企業会計として、経営基盤を強化する必要があります。
⇒ 持続可能で効率的な経営
- 将来を見据えたコスト縮減のための整備や災害に強いインフラ環境が求められています。
⇒ 将来を見据えた効率的な施設・設備の維持

防災・危機管理

- 災害に備え、市民の防災意識の向上を図るとともに、各地区における防災計画の策定や防災リーダーの育成を促進する必要があります。
⇒ 市民の防災意識向上と地域防災力の強化
- 発災時の被害を最小限に抑えるための取り組みが求められています。
⇒ 災害情報共有の推進と避難所機能の充実
- 発災時の安全・安心が確保できる体制の充実が求められています。
⇒ 関係機関等との連携強化（広域防災体制の構築）

消防・救急

- 消防団をはじめとした地域の消防力を高める取り組みが求められています。
⇒ 持続可能な消防団体制等地域消防力の強化
- 緊急時に迅速に対応できる環境を整備する必要があります。
⇒ 消防・救急体制の確立



重点的にすすめる施策

土地利用・都市計画

地域特性や長期的視点を踏まえた土地利用

- 長期的視点に立ち、社会的な変化などに対応する都市計画に見直すことにより、適正な土地利用を図ります。
- 緑地保全に対する制度の拡充などにより、山林の保全や里山景観の維持を図ります。
- 中心市街地の活性化などにより、市街地中心部の魅力創出を図ります。
- 高山駅西地区複合・多機能施設の整備により、高山駅西地区の活性化と高山駅東側と西側とが連動した賑わいの創出を図ります。
- 新火葬場の整備により、誰もが利用しやすく、厳かで温もりのある旅立ちの空間の実現を図ります。
- 都市計画道路西之一色花岡線、市道若達花岡線、市道上三之町下三之町線における無電柱化の推進により、安全に通行できる環境の確保や景観の保全を図ります。
- 市街地外縁部駐車場の利用の促進などにより、市内に流入する車両の抑制や歩行空間の確保を図ります。



■ 無電柱化整備
（市道上之一町花里線）

公共交通

地域の実情やニーズに応じた公共交通体制の確立

- のらマイカーやまちなみバス、匠バスなどの運行ルートやダイヤの見直しにより、利用しやすい地域公共交通の確保を図ります。
- 自家用有償旅客運送、ライドシェア、デマンドタクシーなどにより、地域の特性に応じた移動方法を検討します。
- バスやタクシーなど市民の移動を支える運転手の確保への支援により、公共交通の維持・向上を図ります。

公共交通の利便性の向上

- 待合いスペース等の整備などにより、公共交通の利用環境の向上を図ります。
- 公共交通利用に対する各種補助制度の拡充や見直しを行います。

住宅・公園・景観

良質で住み続けられる住宅環境の整備

- 耐震診断から耐震改修への効果的な誘導により、安全で安心して暮らすことができる住宅環境の整備を図ります。
- 市営住宅の適正な配置により、住宅に困窮する市民へ安定的な住環境の提供を行います。

公園やまちかどスポットの充実

- 公園やまちかどスポットの再整備などにより、こどもの遊び場や憩いの場の充実を図ります。

地域の特性に応じた景観の保全・創出

- 美しい景観と潤いのあるまちづくり条例や景観計画などの適切な運用により、景観の保全を図ります。

空き家対策・活用

- 危険な空き家の除去や活用可能な空き家の利用促進により、市民の安全な生活環境の保全を図ります。

飛騨の匠の技を継承する人材の確保

- 伝統建築産業などの後継者育成や伝統構法への支援により、飛騨の匠の技を継承する人材を確保します。

道路・河川

早期の幹線道路ネットワークの構築

- 都市計画道路松之木千島線、西之一色花岡線、市道旅行村線などの整備により、道路交通の利便性の向上を図ります。
- 中部縦貫自動車道や国道41号石浦バイパス、東海北陸自動車道全線4車線化など広域交通網の整備促進とともに、インターチェンジ周辺をはじめ沿線の地域活性化を図ります。

官民連携による快適な道路・河川環境の維持

- 道路台帳や除雪業務のデジタル化の推進により、市民の利便性の向上と効率的な除雪を図ります。
- 都市計画道路などの交差点改良や幹線市道の計画的な長寿命化改修により、快適な道路環境の維持・向上を図ります。
- 水門の遠隔監視や自動制御化により、降雨時などの住宅地への流入抑制を早期に行う仕組みを構築します。

上水道・下水道

持続可能で効率的な経営

- 上下水道の適正な料金設定により、安定的な経営環境への改善を図ります。

将来を見据えた効率的な施設・設備の維持

- 配水区域の再編、下水道処理区の再編・下水道管情報のデジタル化により、将来への負担の軽減を図ります。
- 水源地域の保全と徹底した水質管理により、安全で安心して飲める水道水を提供します。
- 汚水の適正な処理により、快適な生活環境と流域の良好な水質を確保します。
- 施設や設備の強靱化により、災害時においても安心して利用できる上下水道サービスを提供します。



■ 給水車による活動

防災・危機管理

市民の防災意識向上と地域防災力の強化

- 地域住民による地区防災計画の策定を促進するとともに、実践的な防災訓練を実施することにより、地域における防災体制の確立をすすめます。
- 災害時に必要な知識やスキルを身につけるための防災リーダーの育成や防災教育の推進などにより、災害に対応できる人材の育成をすすめます。

災害情報共有の推進と避難所機能の充実

- 老朽化した防災行政無線機器の更新をはじめ、多様な情報伝達手段を確保し、市民への迅速で確実、かつ安定的・効果的な情報共有を図ります。
- 要支援者や観光客など、誰もが安全に避難できる体制づくりをすすめます。
- 避難所運営マニュアルの見直しや災害備蓄品の確保、分散備蓄の推進などにより、避難所機能の充実を図ります。

関係機関等との連携強化(広域防災体制の構築)

- 大規模災害時に円滑な応援や受援が可能となるよう、国・県、姉妹友好都市、災害応援協定締結団体などとの連携強化を図ります。



■ 地区防災計画の策定

消防・救急

持続可能な消防団体制等地域消防力の強化

- 消防団関連イベントや広報活動などにより、市民の消防団への理解度や消防団員のやりがいの向上を図ります。
- 様々な人材を確保することにより、消防団活動の活性化を図ります。
- 消防団員の処遇改善と負担軽減などにより、消防団の維持と地域消防力の強化を図ります。

消防・救急体制の確立

- 消防指令システム等の更新整備により、消防力の強化を図ります。
- 救急と医療機関の連携による搬送体制の整備により、市民の生命を守ります。
- 近隣の自治体等との連携などにより、市民が安心して暮らせる消防・救急体制づくりをすすめます。

幸福実感指標

指標名	指標の説明	単位	現状値 (2024)	中間目標 (2029)	目標 (2034)
市民満足度 [土地利用・都市計画]	「保全と開発とのバランスの取れた秩序ある土地利用が行われている」と感じている市民の割合	%	29.1	↗	↗
市民満足度 [公共交通]	「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じている市民の割合	%	32.7	↗	↗
市民満足度 [住宅・公園・景観]	「快適な住宅環境や公園、美しい景観が保たれている」と感じている市民の割合	%	59.4	↗	↗
市民満足度 [道路・河川]	「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	%	60.1	↗	↗
市民満足度 [上水道・下水道]	「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	%	90.1	↗	↗
市民満足度 [防災・危機管理]	「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じている市民の割合	%	54.1	↗	↗
市民満足度 [消防・救急]	「消防救急体制が整っている」と感じている市民の割合	%	77.3	↗	↗

主な関連計画

都市基本計画、地域防災計画、中心市街地活性化基本計画、
地域公共交通計画、緑の基本計画、景観計画、水道ビジョン・経営戦略、
下水道ビジョン・経営戦略